

2020 6月29日 大天井岳

朝倉

登山道にはいるといきなり呻吟坂がはじまる。第2ベンチ前後と合戦沢の頭から先を除いてずっとこの急坂は続く。

合戦沢の頭を越えると稜線の向こうの景色が見え始め、燕山荘まで登ると裏銀座縦走コースの山並みが槍ヶ岳まで一望のもとに広がっている。

燕山荘から南進する稜線は小さなアップダウンをしながら花崗岩とそのザレと背の低いハイマツの中をはるかにつながり大天井はそのさきに高い。登山道はそのなかを多種の高山植物の花々に彩られている。イワウメのクリーム色が岩溝に鈴なりであったり、咲き始めたばかりの新鮮なコマクサが砂礫に散らばる。ツガザクラ、イワヒゲ、イワカガミ、時にキバナシャクナゲが混じる。

登山道は右に槍ヶ岳方面への道を分けるとガラガラとザラザラの急登となり登りにくいことこの上ない。ようやく登り詰めた山頂だが昼近くなり周囲の山にも雲がかかりはじめた。安曇野側はすっかりガスが吹き上げ雲海の上に浮かんでいた八ヶ岳も隠されてしまった。穂高は上部が隠れ裏銀座の山並みもわいた雲に見え隠れしている。4人パーティーが登ってきたのをしおに往路を戻った。合戦尾根往復11キロ、稜線歩き往復12キロ長い長い山歩きであった。

コースタイム

5:00 中房温泉—7:30 合戦小屋—8:40 燕山荘—11:40 大天井山頂—15:00 燕山荘 17:30 中房温泉